

平成21年度の決算です！

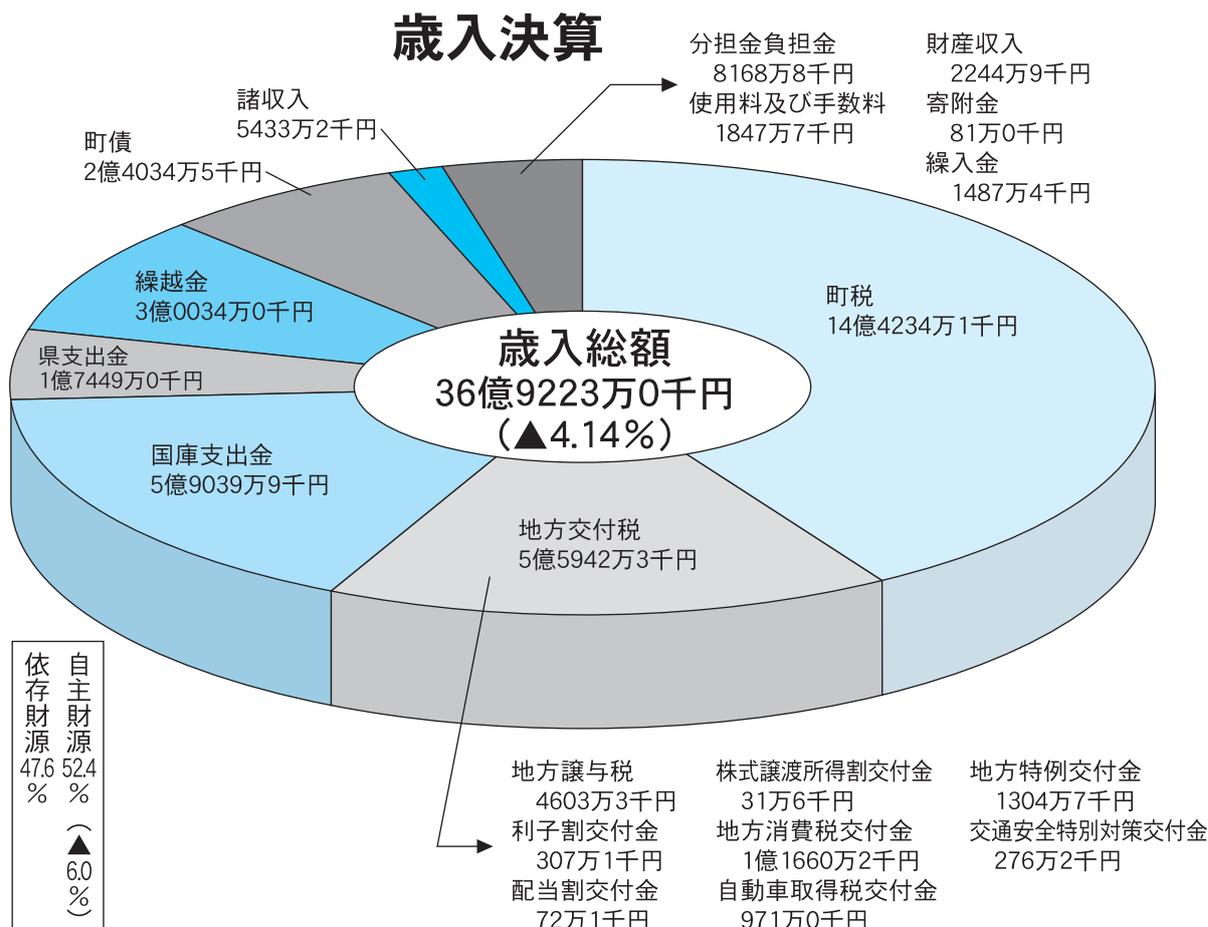
歳入 36億9223万0494円

(前年比▲4.2%)

歳出 33億9820万4983円

(前年比▲4.3%)

平成21年度
決算



概況

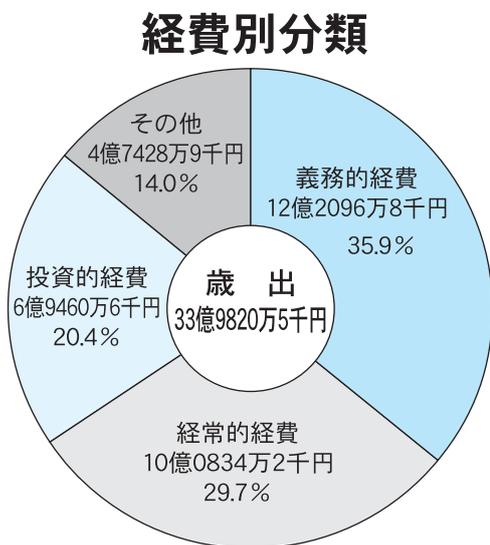
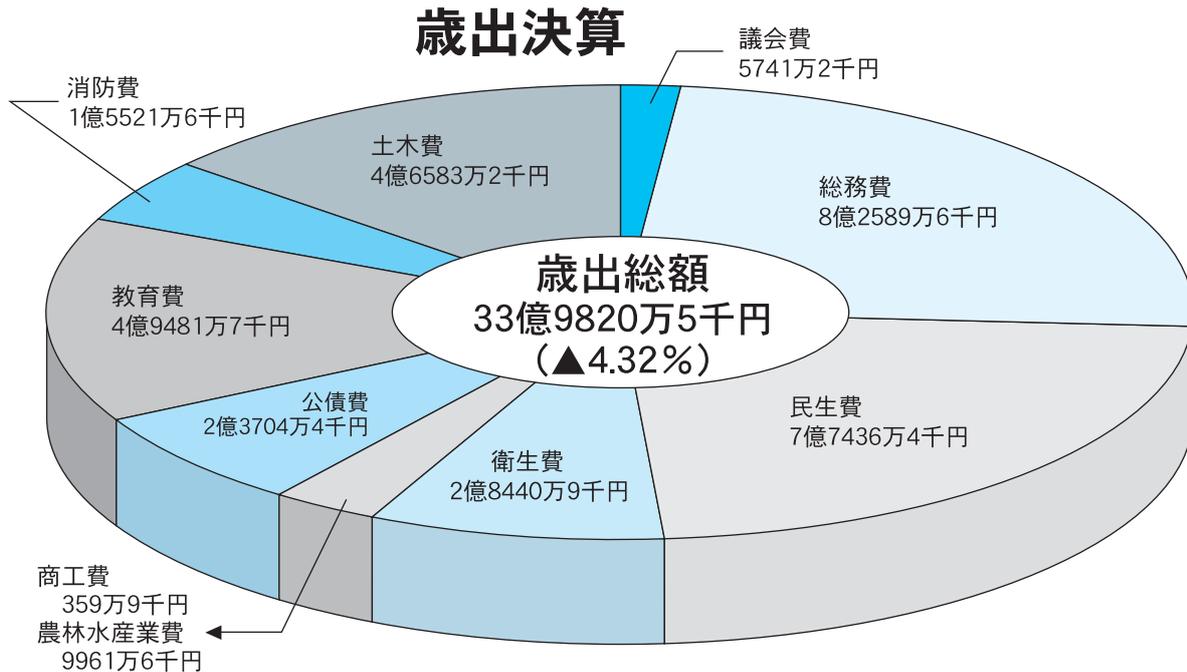
嘉島町の平成21年度一般会計の決算額は歳入 36億9223万0千円(4.14%減)歳出 33億9820万5千円(4.32%減)と前年度に比較して歳入歳出ともに1億6千万円程度の減となっており、不況による税収の減等により自主財源の比率も52.4%(前年は53.4%)と前年に比べ減少しました。政情の変化によって地方自治体の財政状況は一層きびしさを増していくことが予想されるため、堅実な財政運営を行うことが重要でしょう。

歳入

主な歳入項目ごとの決算額を見ますと、町税は町民税等の減により8114万2千円(5.3%)の減、地方交付税は普通交付税の増により837万4千円(15%)の増となりました。また町債は都市公園事業債の減等により1億6821万4千円(41%)の減となりました。毎年継続的且つ安定的に収入されるものを経常的収入といい、歳入構造の安定性を表す指標で行政水準の持続的向上を確保していくためには、この経常的収入の安定が肝要ですが、21年度の経常的収入は24億6371万3千円、前年度に比べ1億8561万3千円、7.0%の減となりました。また、町税、地方譲与税、地方交付税等を一般財源とされていますが、その大部分が用途について特定されていないために、歳入総額に占める割合が大きい程、地方自治体の自主性が生かされることとなります。この一般財源は経済対策等の臨時交付金による国庫支出金1億5616万8千円の増が大きく、前年度に比べ9061万3千円、33%増となり、その構成比は76%で前年度71%を上回りました。自主財源の総額は19億3531万1千円、前年度に比べ6.0%1億2278万7千円減となり収入総額に対する構成比は前年度を下回りました。



平成21年度嘉島町特別会計		(前年比)	
国民健康保険計	歳入	10億538万1千円	95.68%
特別会計	歳入	9億2008万5千円	97.61%
住宅新築資金等計	歳入	977万7千円	93.87%
特別会計	歳入	249万3千円	67.71%
老人保健計	歳入	1403万6千円	8.42%
特別会計	歳入	914万3千円	5.80%
介護特別保険計	歳入	5億4061万6千円	100.65%
特別会計	歳入	4億9420万4千円	100.82%
公共下水道事業計	歳入	7億130万4千円	99.63%
特別会計	歳入	6億1725万1千円	96.85%
後期高齢者医療計	歳入	986万2千円	112.09%
特別会計	歳入	9551万1千円	113.44%



歳 出

平成21年度の経費を性質別に分類しますと義務的経費（人件費、扶助費、公債費等）35.9%、経常的経費（物件費、維持補修費、補助費等）29.7%、投資的経費（普通建設事業費、災害復旧費等）20.4%、その他の経費14.0%となりました。これをさらに見ますと普通建設事業費20.4%、補助費18.3%、人件費17.6%がもっとも大きな比重を占めています。投資的経費は運動公園整備事業費の減等で22.1%の減となり構成比も前年度と比較して4.7ポイント低くなりました。成果調書の中からいくつか挙げてみますと、保育所運営委託事業2億937万円、児童手当扶助事業7500万5千円、障害者自立支援事業4504万9千円、乳幼児医療費助成事業2351万7千円、小中学校太陽光発電設備工事6172万9千円等々が挙げられます。

これからの財政事情

わが町の経済は企業誘致等によって比較的順調に推移していますが、地方の財政事情は不況によりきびしい状況が続くものと思われれます。しかも歴然とした少子高齢化社会の急速な進展や住環境の整備、産業育成等課題の多様さに比して財源は限られています。町民の皆様の御理解と御協力をお願いします。（財政係）

